

平成30年度



# 五中の教育

平成31年3月  
武生第五中学校

## ご挨拶

保護者の皆様ならびに地域の方々には、日頃から武生第五中学校の教育活動に対しまして、温かいご理解と多大なるご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

白山地区に誇りと愛着をもち、将来ふるさとに貢献できる生徒の育成を目指して、皆様方に様々な形で本校の教育活動に関わっていただきながら、全教職員が一丸となって地域に根差した特色ある学校づくりを推進してまいりました。本校の取組と生徒の成長した姿をまとめましたので、ご覧いただけると幸いです。

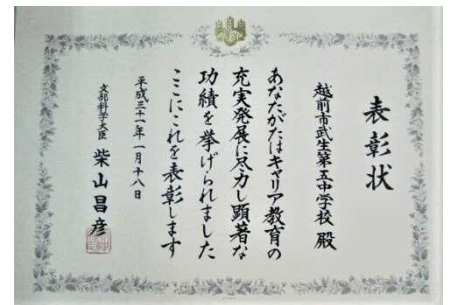
今後とも、よろしく願いいたします。



## 五中の概要

本年度は、在籍生徒36名（1年17名、2年8名、3年11名）と、常勤の教職員11名、様々な分野の専門家である非常勤12名で、活気あふれる学校づくりを目指してきました。

また、地域とともに進めてきた武生五中ならではの活動にも、継続して取り組んできました。「五中スイカ栽培(1998年～)」「環境調査(2009年～)」「赤ちゃん抱っこ体験(1996年～)」は、生徒の主体的な活動として定着し、地域の課題解決意欲や生徒自身のキャリア意識の向上につながっています。これらの取組が評価され、文部科学大臣より「キャリア教育優良学校」として表彰を受けました。



## 学習

“学ぶ喜びのある学校”の実現に向け、授業のユニバーサルデザイン化と基礎・基本の定着に重点を置いて学習指導を行ってきました。チームティーチングや教育支援員の活用で、個に対応した授業にも取り組みました。

将来を見据え、言語活動に力を入れていることも本校の特徴です。「しらやま家庭・地域・学校協議会」の国語科「ブックトーク」授業公開では、委員の方から、「ユーモアを交えてしっかり説明ができています。」「はっきりと受け答えができています。」などの評価をいただきました。



学校外の活動にチャレンジする生徒も多くなりました。ふくい理数グランプリに自主参加する生徒や、ロボットコンテストで東海北陸地区大会に県代表で進出する生徒が現れるなど、大活躍でした。

来年度以降も、これらの取組の勢いをさらに強めていきます。

## 地域と進める体験学習

OSKI 活動（ S=白山・スイカ・サギ草 K=活性化・コウノトリ・環境 I=委員会 ）

SKI（しらやま活性化委員会）も3年目となりました。

スイカ栽培やコウノトリの棲みよい里を作るための環境調査、夏祭りでのPR活動など、SKIのメンバーは、多くの場面で中心的な役割を果たしました。また、地域との窓口となり、地域コーディネーターやスイカアドバイザーと意見交換を行ったり、夏祭りの企画委員会に参加させていただいたりする中で、地域の方々の五中に対する期待の大きさを感じたようです。

### （ S ） スイカ栽培

本年度も、スイカの販売を目標に取り組みました。

昨年度の問題点（収穫時期の調整、数量の確保など）を解決するために、冬のうちからSKIが中心となり新たな計画を立てました。定植時期の前倒しや大きな畝での栽培など工夫をこらし、夏祭りのある8月上旬の収穫を目指しました。大きな畝は白山地区でも使っている農家は少なく、うまくいけば五中の取組が新たなスイカ栽培の流れを作れるのではと、生徒も期待に胸を膨らませながら取り組みました。

栽培は、委員会ごとの縦割り班で、3年生が先生役となって1・2年生をリードしました。生徒数が減ったため一人一人の負担は大きくなりましたが、委員長中心に全員で協力しながら取り組むことができました。

しかし相手は自然。天候が安定せず、しっかりと作業を行っても思うように成長しないという厳しさも学びました。それでも、昨年度の売上金を活用して、よりよいスイカ栽培を目指し試行錯誤したことは、生徒の大きな力になりました。

夏祭りでの販売は、本年度も行うことはできませんでしたが、昨年同様、SIPYやサギ草祭での販売は大盛況でした。

現在は、地域コーディネーターの協力を得ながら、売上金を白山地区の活性化にどのように活用するかを相談しています。



### （ K ） コウノトリが棲みよい里づくりを目指した環境調査

「白山で生息している生き物について調べ、コウノトリやその他の生物も住みやすい環境をつくらう！」というテーマで、冬水田んぼ、慣行田、退避溝、川に分かれて行く生き物の調査も、今年で10年目になりました。調査結果をまとめたポスターを、夏祭りや文化祭に掲示しました。コウノトリの放鳥式の会場にも掲示し、簡単に説明も行いました。



また、今年度は修学旅行で訪れた葛西臨海水族園で、3年生が取組について発表し、園長から活動についてアドバイスをいただきました。今後の調査に活かしていく予定です。

### （ S ） サギ草栽培

本年度もサギ草王国の方々のご指導のもと、1年生が一鉢ずつ栽培しました。自分たちに託された球根を育て、次の代に受け継いでいこうという思いを胸に、4月から夏休みまで、当番を決めながら欠かさず水やりを行う姿からは、例年以上の主体性を感じました。

昨年度は天候に恵まれず開花が遅れ、8月上旬のサギ草祭には間に合いませんでしたが、本年度は成長がよく7月下旬より開花が始まり、サギ草祭では美しく開いた花を展示することができました。サギ草王国の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。



## その他の体験学習等

### ・いのちのぬくもり体験学習（赤ちゃん抱っこ体験）

本年度は7組の赤ちゃんとお母さんに来ていただき、1年生17名が赤ちゃんとの触れあいを通して、命の尊さや温かさについて学びました。赤ちゃんのかわいらしい仕草や表情に笑顔があふれ、和やかな雰囲気の中で学習することができました。地域の皆様にも、活動にご協力いただきました。ありがとうございました。



### ・職場体験

2年生は夏季休業中に、市内を中心とした事業所で職場体験を実施しました。実際に職場で働くことで、働くことの意義や大変さを学び、自分の進路や将来について考えるよい機会となりました。

### ・「わたしの啓発録」発表会～祖父母学級～

福井の先人橋本左内の啓発録にならい、元服にあたるこの時期に、今後の自分の生き方について考えました。発表会では、今までの自分を振り返り、生涯にわたる志となる「わたしの啓発録」を言葉にして、決意を新たにしました。また、家族と一緒に遊ぶこともなくなりつつある今日この頃ですが、参加者全員がニュースポーツを通して一緒に触れ合い楽しむこともできました。

## 生徒指導

毎年、右の3項目を重点目標として示し、将来、社会で通用する人間、そして周りの人から応援される人間になるために、必ず実行するよう呼びかけています。また、人の意見に流されず、自ら考え判断し行動することや、場に応じた言葉づかいや行動、自分の役割を果たし物事を途中で投げ出さないことなどにも重点を置いています。

### 重点目標

- 1 挨拶をしよう
- 2 時間を守ろう
- 3 物を大切にしよう

どの学校でも課題となっている情報モラルについては、生徒会が主体となって作成した「五中インターネットルール」を活用しています。しかし、五中生の現状や課題を踏まえたルールの見直しが必要となってきたので、生徒会を中心に検討を進めています。また、12月に株式会社 docomo より講師をお招きし、情報モラル講演会（スマホ・ケータイ安全教室）を行いました。自分にも起こり得る身近なトラブル、スマートフォン・携帯電話を安全に使うためのルールやマナーについて教えていただきました。ご家庭でも、インターネットを利用する上での危険性やルールについて、是非話し合ってみてください。

### 五中のインターネットルール

- 1 保護者と利用状況を確認し合い、ルールを守らない時は、一時利用をやめる。
- 2 使う時間と場所を決める。
- 3 午後9時以降は、インターネット等を使用しない。
- 4 毎週月曜日は、No インターネット Day とする。
- 5 平日の使用時間は1時間以内とする。長期休業中や休日の使用時間は2時間以内とする。
- 6 他人のことや自分の写真・名前・動画などの個人情報を書き込まない。
- 7 携帯電話やパソコンに、フィルタリングソフトを入れて使う。
- 8 お金がかかることはない。
- 9 知らない人とメールやアプリを使って連絡をとらない。
- 10 ID・パスワードは他人に教えないし、自分勝手に設定しない。

## 生徒会本部

前期生徒会は、スローガン『GO！～一人一人が輝くヒーロー～』のもと、あいさつ運動・募金活動をはじめとして様々な取組を行いました。9月には、学校祭テーマ「Power of Smile～ヒーローの力は∞～」を掲げ、「ヒーロー探し」と題してほかの生徒の良いところを見つけ合いました。その結果は、それぞれの顔写真とともに生徒玄関に掲示しました。後期生徒会も、『PLAY～五中革命～』のもと、五中のことを今よりも知ってもらおう・五中生の絆を深めることを目的とする新イベントとして「五中クイズ・クリスマスクイズ」を行いました。3学期は、全校レクリエーション（ジョイフル五中）、新入生説明会、卒業生を送る会など、がんばって活動しています。



校外活動でも、伝統であるボランティアサービス活動を7月と11月に実施しました。特に、公民館周辺の側溝の泥あげは、高齢のボランティアの方々の負担軽減につながることを知り、やりがいを感じるすることができました。

## 体力・部活動

体育の実技の授業では、本年度もタブレット PC を活用し、自分たちの動きを視覚的に捉え練習できるようにしました。準備運動で種目に応じたトレーニングや時間走を行ったり、体力強化月間に縄とびや筋力トレーニングを行ったりなどして、昨年度に引き続き体力の向上を目指しました。

部活動では、バドミントン部・卓球部ともに、それぞれの目標に向かい毎日一生懸命に取り組み、男子バドミントン部は久々に団体戦への出場も果たしました。文化部であるアート部も、活動前に毎回欠かさずランニングを行い、体力の向上に努めています。

部活動以外でも、南越地区陸上大会や駅伝大会で多数活躍し入賞しました。駅伝大会においては、5年ぶりに女子が出場し、男女ともに大健闘の走りを見せて

くれました。また、地元開催の福井国体・障スポに向けた応援のぼり旗作成やソフトボール観戦により、スポーツに対する生徒たちの意識も高まりました。



## 健康

本校では、心身の健康と安全を意識し、基本的な生活習慣を自ら身に付けていくために、毎日の個人の健康観察や、身体計測、保健指導、学校保健委員会などに取り組んでいます。

本年度の学校保健委員会は、市健康増進課の保健師を講師に迎え、「生活習慣病予防教室」を行いました。講演の前には、保健委員会が、事前に全校生徒を対象に行ったアンケート結果をまとめて

発表したり、お味噌汁の試飲を行ったりして、自分たちが日ごろ「おいしい」と思っているものには意外と多くの塩分が入っていることを実感してもらいました。生活習慣病は日ごろの悪い習慣が積み重なっておこる病気で、10年後、20年後の自分の健康を守るために、中学生の今の時期から睡眠や食事、塩分や糖分の摂りすぎなどに気をつけて生活していくことが大切だと学びました。



## 安全教育

大阪府北部で6月に発生した地震による塀の倒壊に伴い、通学路のブロック塀等の状況調査を行いました。生徒には、どんな場所がどのように危険なのかを確認し、いざという時の適切な行動について考えてもらいました。また、中体連大会前の部活動延長時にはPTAによる下校時の校区巡視、平日下校時には地域の見守り隊による巡回パトロールなど、地域の方々にも生徒の安全指導にご協力いただいています。

このほか、交通安全教室、地震対応避難訓練、不審者対応避難訓練などを例年通り実施しました。原子力災害等における緊急時引き渡し訓練では、保護者の方々の協力を得て一斉下校訓練も行いました。



## 小中連携

夏季休業中に小中連携会議（30年度のテーマ「環境教育」「言語活動」）を開催しました。本年度は小中それぞれで行っている活動の中で、重複している部分や連携できる内容について話し合い、より充実した取組にするための改善方法について検討しました。

学期に1回、中学校のテスト期間に合わせて小学校と一緒に取り組んでいる「目に優しい生活チャレンジ（ノーメディアチャレンジ）」では、生活習慣の見直しと合わせて、テストに向けて立てた学習計画を、家族の協力を得てしっかり実践できたようです。

## ホームページや各種たよりによる情報発信

学校行事や普段の授業の様子、各種お便り(カラー版)などを掲載しています。

ほぼ毎日、更新を行っていますので、最新の学校生活の様子をご覧ください。

(五中ホームページ <http://school.city.echizen.lg.jp/takefu5>) : QRコード→

